

令和6年7月26日

府中市教育委員会
教育長 酒井 泰 様

府中市学校施設老朽化対策推進協議会
会 長 田 中 友 章

府中市学校施設改築・長寿命化改修計画改定素案の作成について

令和5年7月18日付5府教施第48号で諮問のありました府中市学校施設改築・長寿命化改修計画改定素案について、府中市学校施設老朽化対策推進協議会において協議しましたので、別紙のとおり答申します。

なお、次のとおり付帯意見を申し添えます。

- 1 改築実施校の実績を踏まえ、現計画策定時から変化している、教育や環境、防災面に関する付加価値に加え、建設費の高騰などを考慮し議論を重ねました。

今後、老朽化対策を実施するにあたっては、建設費が上昇するなかでも、新たに学校施設に求められている様々な機能や役割を考慮し、事業を進めていただきますようお願いいたします。

- 2 今後、改築実施校を選定するにあたっては、「府中市立学校の適正規模・適正配置の実施に向けた方策について（答申）」で示された、児童・生徒数推計を考慮したうえで、適正な規模・配置の視点を踏まえ、より良い教育環境を実現する学校づくりに努めるようお願いいたします。

- 3 児童・生徒が老朽化対策事業へ参画することにより、学校への愛着が深まるよう配慮をお願いいたします。また、学校施設の整備が児童・生徒の教育活動の充実に繋がり、事業を環境学習への契機として捉えられるように配慮をお願いいたします。

- 4 継続的に実施される老朽化対策が発展的なものとなり、今後も適切な運用ができるよう、対策を行った学校の点検・評価を実施し、より良い学校施設の整備に努めていただくようお願いいたします。

- 5 府中市の各種計画との整合性を図るとともに、児童・生徒数の増減や新たに求められる教育ニーズ、環境、防災の視点、さらに、地域から求められる役割等の様々な状況の変化に柔軟に対応できるよう、定期的に計画を見直すことを提言します。